

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

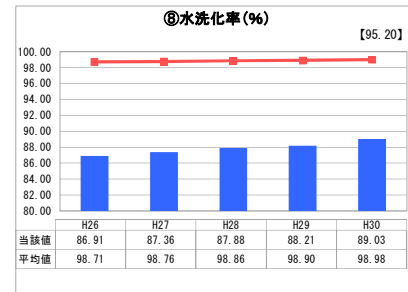
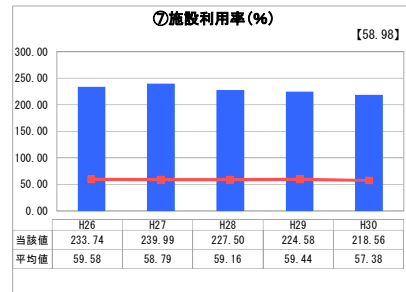
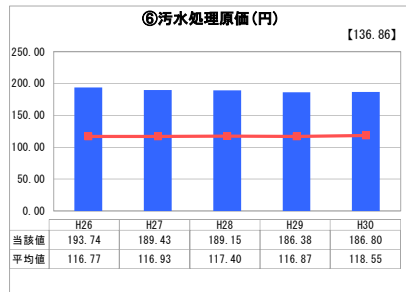
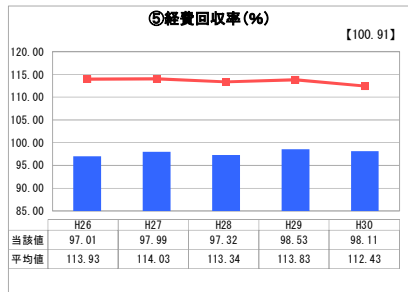
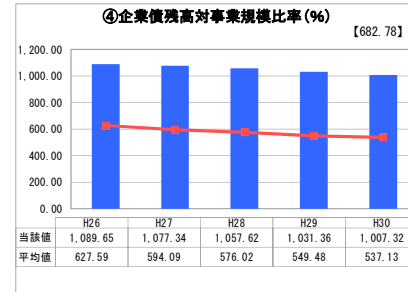
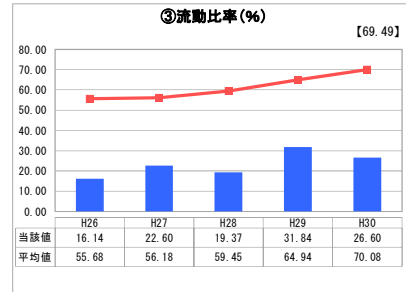
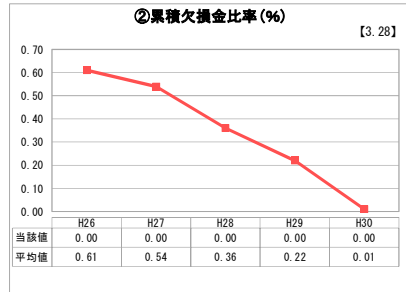
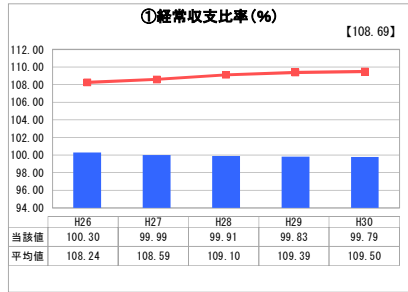
岡山県 岡山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	政令市等	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	39.78	66.31	87.20	2,957

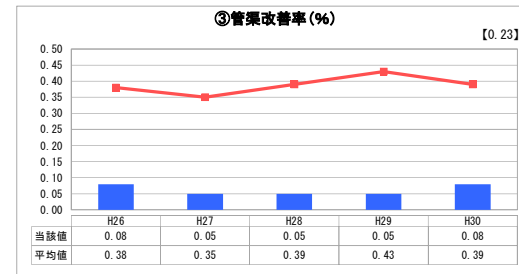
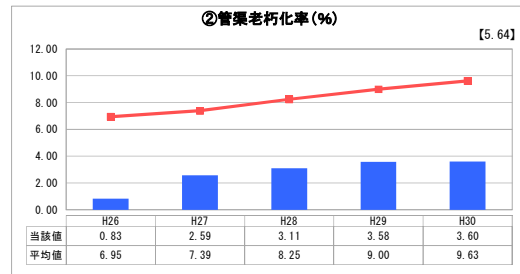
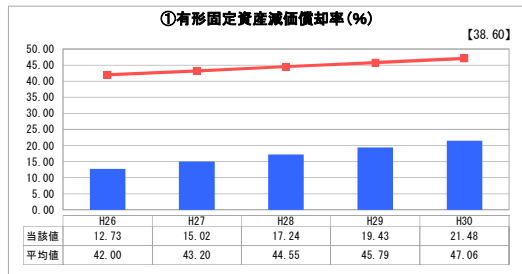
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
709,241	789.95	897.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
469,031	75.03	6,251.25

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

岡山市の下水道事業の普及率（下水道を使用できる状況下にある人口の割合）及び⑧水洗化率（普及人口のうち実際に下水道に接続している人口）は類似団体（政令市等）の中で、最も低い。これは、平成の一桁になってから本格的に整備した（現在も整備途上である）こと等が要因である。

各指標の特徴としては以下のとおり

- ①一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、100%程度となっている。
- ②一般会計繰入金により赤字相当額を補てんしており、欠損金は生じていない。
- ③類似団体と比べ整備時期が遅いこと等により、経費に占める償還元金の割合が高いため、他都市に比べて低水準となっている。
- ④類似団体と比べ整備時期が遅いこと等により、高水準となっているが、確実に減少している。
- ⑤使用料対象としている額に対し、100%は賸えていない。
- ⑥資本費が高いこと（④）等により、高い水準にあるが、減少傾向にある。
- ⑦晴天時一日平均水量÷晴天時現在処理能力×100で表される指標であるが、分母の能力に県所管の流域下水道を含めていないため、参考外。
- ⑧整備途上であることから、低い水準にあるが、年々高くなっている。

### 2. 老朽化の状況について

類似団体間での比較では、本格的な整備時期が平成一桁以降と遅いことから、老朽化の指標の数値はいずれも低い。（本市は平成22年度より地方公営企業法を適用しており、①有形固定資産減価償却率（%）は法適用以降の減価償却累計で算出されるため、その点に留意する必要がある。）

ただし、将来的には多額の更新需要が見込まれることから、長寿命化や改築更新費用の平準化を計画的に進める必要がある。

## 全体総括

持続可能な下水道事業の運営を図るため、H27年度に策定した経営戦略（岡山市下水道事業経営計画2016）の中で目標数値を定め、PDCAサイクルにより経営改善を図ることとしている。

具体的には、接続促進による使用料収入の確保、施設の統廃合や施設管理の効率化等による支出の削減等により、経営改善を進めることとしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。